

RAP 応用 B 第4期の主な行事・締め切り

第4期では、これまでの研究内容をまとめる期間です。これまでの研究内容・得られた結果をまとめて、次につながるように、論文としてまとめていきましょう。

また、12月18日の校内発表会で上位5チームに選出されたみなさんは、発表会が開催されます。発表会に向けた準備も並行して行っていきましょう。

校内発表会でもらった意見や感じたことを振り返り、より内容を精査、発展させていきましょう。

【1月～3月の予定】

月	日	代表班（5班）	その他	備考
1	14	④期ガイダンス・論文の書き方・・・など 研究要旨・発表スライドの修正・論文作成		
	(21)	進研学力テスト		
	28	論文作成／発表資料作成	論文作成	
2	4	SSH 成果発表会（県民会館） 終日、県民会館		2月4日以降、各資料 ↑ 締め切りの日まで RAP 応用Bの時間 はありません。 班で協力して完成さ せてください。 ↓
	(10)	しまね探究フェスタ 社会班、言語・文化班 参加		
	(11)	建国記念日		
	(18)	授業なし		
	21 ～ 26	学年末試験		
3	(4)	共通テスト模試		
	11	論文作成		
	14	島根県理数科課題研究発表会（島根大学） 数学・情報班、地学班 参加		
	18	論文／成果と課題 締め切り（厳守）		

第4期 RAP 応用 B 提出物および締め切り一覧

提出物および締め切を確認し、計画を担当の先生と相談しよう。

【RAP 応用 B 提出物・締め切り一覧】

	提出物	記述内容・様式	締め切り
1	研究要旨 (修正版)	A4 1枚	1月31日
2	発表スライド (修正版)		1月31日
4	研究論文	A4 4ページ	1回目3月 3日 最終 3月19日
5	成果と課題	引き継ぐ後輩の班に向けた内容 A4 1枚	3月18日

研究論文について 研究論文記載要領

1. 体裁について・・・論文集作成のため以下守って作成してください

- (1) ファイル形式：.doc 形式および.docx 形式（他のファイル形式は不可）
- (2) 分量：A4 サイズ・4 ページ
- (3) ページ設定：余白：上下左右 30mm、文字数 40、行数 40
★ 研究要旨から変更しています。必要な個所をコピーして作成してください。
- (4) 英数字：半角
- (5) その他：適宜、写真・グラフ等を掲載

2. 必須項目（記載内容についての解説） ※「課題研究メソッド」第5章（P126～）を参考に

内容		解説
発表テーマ・Title		日本語、MS ゴシック、12 ポイント、太字、中央揃え (発表テーマを英語表記にしたもの) Arial、12 ポイント、太字、中央揃え
氏名・Name		MS 明朝、10 ポイント、姓と名の間は半角スペース それぞれの氏名間を全角スペースとして、中央揃えとして横書きし、最大 2 行以内。(英語表記は Arial)
Abstract (英語 表記)		Arial(数字・化学式等も・・・Century で入力しない)、 10 ポイント・4 行以内 研究の重要な内容を簡潔かつ正確に記述。 <u>※論文全体を見なくても内容が理解できるようにまとめる。</u>
それぞれの見出し：MS ゴシック、10 ポイント、太字、左寄せ それぞれの説明文：MS 明朝(数字・化学式等も・・・Century で入力しない)、10 ポイント		
本文	研究の背景	なぜその研究をしようと思ったのか（きっかけ）、この研究がなぜ重要であるのか（社会的背景）記す
	研究の目的	研究の目的を記す
	研究の内容	(1) 方法 研究手順や方法の概要を、特徴的な点に焦点をあて記載 ※特に研究手順については、やった研究手法の妥当性と、読者が研究を再現できるようにする。①目的②方法と理由③研究対象・試料④手順
		(2) 結果 研究の分析・結果のまとめを、データを添えて記す。 ※結果（数値を含めて）を正確に表記する。図やグラフはわかりやすいように、適切なものを作成する
		(3) 考察 結果に対する科学的考えを記す。 ※感想ではなく、事実に基づいて分析する
	研究のまとめ	(1) 結論 目的、方法、結果・考察との整合性に配慮し、結論を記載する。 必要に応じて今後の課題や方向性を記す。
		(2) 今後の課題 今後の展望や課題などを記す。
	謝 辞	誰がどのようにに関わり、研究の手助けをしてくれたのかを記載し、に感謝の意を表しましょう。
	参考文献	研究中に参考にした、書籍、論文、情報等の主要なものを記載する
	IT・データサイエンスの活用	IT・データサイエンスを活用した部分について記載

2. 参考文献について

参考にした文献等は、本文中に要約・引用した文献等も、本文中には用いなかった文献等も、全て挙げること。

- 編著者名・発行年・資料の題名・出版社名（このうちの一部から引用する場合は、これに加えて引用箇所ページ番号）を、編著者名の五十音順で並べて書く。
- 同じ編著者名の場合は発行年の順（発行年も同じ場合は資料の題名の五十音順、その場合、発行年を例えば「2013a」と「2013b」などと表記して区別する）に並べる。
（例 ④～⑥）
- 編著者がいない場合は、あとにまとめて挙げる（例 ⑦）。
- 新聞記事から引用する場合は、紙名、日付、ページ、タイトルを書く（例 ⑧）。
- インターネットからはできるだけ引用しない方がよいですが、発行元が信頼できる場合で、かつどうしてもその情報を使う必要がある場合は、サイト名とともに、URLと閲覧日時を記します。（例 ⑨）

<参考文献等一覧>（例）

- ① 沢田章 1970 日本画家辞典人名篇 大学堂書店 p.178
- ② 福井久蔵 1927 大日本歌書綜覧中巻 不二書房
- ③ 松平家編集部（編） 1999 増補復刊松平不昧傳 原書房 pp.105-116
- ④ 湯川秀樹 1960 旅人―湯川秀樹自伝 角川書店
- ⑤ 湯川秀樹 1981a 創造への飛躍 講談社
- ⑥ 湯川秀樹 1981b 若い人々へ 自然, 430, 118-122
- ⑦ 『雲州松平家系譜』（島根県立図書館蔵 請求番号 092.8.56）
- ⑧ 山陰中央新報 28 面（2013 年 8 月 31 日付） 7 月有効求人倍率島根 1.09 倍
- ⑨ 文部科学省「新学習指導要領・生きる力」
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm
（2013 年 8 月 20 日 13 時 45 分閲覧）

3. データの提出について

電子データの名称は **研究論文 2024 【〇〇〇班】** としてください。

RAP 応用 B（課題研究）用の配布 PC（surface 各班 2 台）で作成します。

pc>>校内 LAN_共通(S:)>>R6-RAP 応用 B 共通フォルダ>>**R6RAP 応用 B 研究論文**

【論文の作成について】

論文は 1 年間のみなさんがやった研究の記録です。

次の人が同じ実験が正確に再現（同じ実験をして、同じ結果を得ることが）できるように、詳しく書いておきましょう。

※ 発表会で指摘されたこと、わからないことはもう一度調べ直して、記載しておきましょう。（論文に追加で必要な情報、調べる必要があるものの整理をしましょう）

※ 提出する前に、必ず担当教員のチェックを受けてから提出です。